

子宮頸がんは防げるがんです

＊ ＊ ＊
 県内どこでもHPV検査が**無料**で受けられます！

子宮頸がんって？

ほとんどの女性が一生に一度は感染するHPV(ヒトパピローマウイルス)という、ごくありふれたウイルスが主な原因です。たとえ感染しても、多くの人は自分の免疫力でウイルスを排除できます。ところが、約10%の人がウイルスを排除できずに感染が持続してしまい、一部の人で細胞が変化します。この状態を「異形成」といい、長い期間を経てがんに進行する可能性があります。

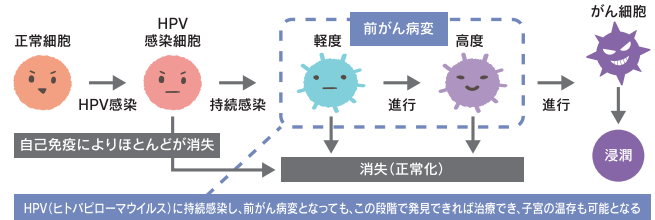
HPV検査で陽性だったら？

HPVに感染しても、約9割の方は自己の免疫力で自然に排除されるので、1度の検査で陽性となっても過度に心配する必要はありませんが、ウイルスが消えたかどうか、細胞に異常が出ないかを定期的に確認することがとても大切です。定期的な検査(陽性の場合は1年後)を必ず受けましょう。

HPV検査って？

HPVが消えたかどうかを見る検査で、現在の病変の有無だけでなく、「将来の細胞の変化」が予測できるため、子宮頸がんになる前の段階で治療することができます。

◆正常な細胞が子宮頸がんになるまでの経過



HPV検査でうれしいこと

- がんになる前の細胞(前がん病変)の発見精度が**ほぼ100%**まで向上します
- 通常の市町の子宮頸がん検診(細胞診検査)と一緒に検査するので、身体的負担もなく、**今までと同じように受診するだけです**
- 細胞診検査・HPV検査の両方の結果が「異常なし」の場合、**次回は3年後の受診**となり、検診間隔が延びます。

自己負担額

- 子宮頸がん検診(細胞診検査) お住まいの市町によって異なります(無料～2,000円前後)
- HPV検査

無料

無料化の対象となる方

- 佐賀県内にお住まいの**30～44歳の女性**(年度末時点)
- ※前年度または前々年度にHPV併用検査を受けて、細胞診、HPV検査ともに「異常なし」だった方を除きます

HPV検査を受けられるところ

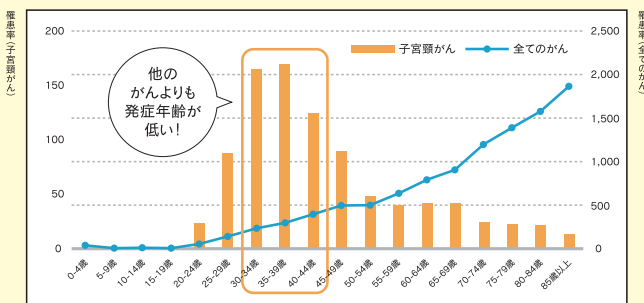
県内の産婦人科等で行っている個別検診や、市町が実施する集団検診で、子宮頸がん検診を受ける際に同時にHPV検査ができます。予約または検査時に申し出てください。

今、若い女性に子宮頸がんが増えています

佐賀県は子宮がんの死亡率が**全国ワーストレベル**です。(※)中でも、子宮頸がんは30～40代の罹患率が高く、20代の若い女性での発症も増えています。**子宮頸がんは検診で防ぐことが可能です。**

※75歳未満年齢調整死亡率、国立がん研究センター がん情報サービス

子宮頸がんの年齢階級別罹患率



(佐賀県がん登録事業報告書2011年～2015年症例。人口10万人当たり、5年平均)

子宮がん検診の広域化

出産した医療機関や勤務先の近くにある医療機関など、県内の産婦人科等でも、市町の子宮がん検診を受診できるようになっています。実施医療機関は下記の「がんポータルさが」で検索できます。

がん検診はどこで受けられるの？

予防について知りたいけれど？

治療の悩み、どこで相談したらいいの？

がんについての「知りたい」は、「がんポータルさが」へ

上記の子宮がん検診を受診できる医療機関や各種がん検診の日程、精密検査ができる医療機関、イベント、各種助成、相談窓口の情報など、がんに関する「知りたい!」におこたえします。ぜひご利用ください!

がんポータルさが 検索

